

彼岸だより



冷泉山 秘在禅寺
 住職 武山清堂 副住職 武山一堂
 〒 421-2105 静岡市葵区郷島 562
 電話 054-294-0542
 Fax 054-294-0709
 info@hizaiji.net
<http://hizaiji.net/> (秘在寺)
<http://ashita-an.hizaiji.net/> (あした庵)

◆お彼岸

(今日)

けふ彼岸

菩提の種をまく日かな

松尾芭蕉



という俳句があります。彼岸という今日を迎えた芭蕉は自分に問いかけました。「何をすべき日だろうか？」と。そこで出た答が「菩提の種をまく」ということでした。菩提とは「気づく」ということです。その「気づき」の種・きっかけをつくるのが彼岸だということです。

気づきの「気」とは、空気、元氣など見えないものを指します。ですから私たちが生活していて普段見えていない物を発見する、それが気づきです。いつもは見えない、目立たないが、いざとなったら助けてくれるもの、私たちは数多くのそういったものに生かされていると言えます。

お彼岸のしおり「にっころに種をまく」
 (山田真隆) より抜粋

◆春彼岸法話の会

三月十三日(日) 午後七時

講師は福岡県大川市

修林庵住職 清水圓俊師

テーマ 『おかげさま』

自然の恩く大自然の恵みの中で



法話に先立ち、本山からいただいた米寿・成人・出産のお祝いの品を授与致しますので、該当の方はご出席ください

米寿

二十歳

出産

(敬称略)

◆永代供養墓 春彼岸法要

三月二十日(日・祭) 午前十時より

◆護持会費第一期分納入お願い

世話人さんは、護持会費を四月中に集金してください。

◆第十二回しずおか句碑の郷句会

四月十日(日) 午前十時～午後三時
秘在寺本堂にて

◆静岡市仏教会花まつり

四月五日(火) 午後一時より
静岡市民文化会館

法要のあとは春風亭昇太さんの落語です。入場無料。チラシをご希望の方は秘在寺へどうぞ。

◆花まつり

四月二日(土) 安倍ごころ 午前十時～三時

昨年引き続き「安倍ごころ」にて花まつりをします。御詠歌泉会会員が生花を集めて飾った花御堂に是非お参りください。抹茶とお菓子もご用意します。お子様にも見せてあげてください。



昨年の花御堂です





◆音楽イベント 「シフクノトキ」

4月29日（金・祭）

「シフクノトキ」第5回目の開催が決定致しました。コンサートは晴天時は屋上にて雨天時は本堂で行います。今回は「シフクノトキ」5回記念として、なんと「Caravan」の出演が決定しました。

Vol.5を迎えることができたのも、ひとえにご来場の皆様、ご関係の皆様、ご縁をいただいたアーティストの皆様のおかげです。檀信徒の皆様、特に近隣のお住まいの方々にご迷惑をおかけすることのないように心がけて計画・実行してまいりますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願い致します。

◆塔婆供養申し込みについて

今年度より塔婆供養の締め切りを早めて七月十五日とさせて頂いていただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

◆ヨガ教室 始まりました

正月日よりご案内しましたが、二月からヨガ教室が始まりました。遠方より先生にお越しの縁をいただいで、遠方より先生にお越しの縁をいただいでいます。



基本的には毎月第一、第三水曜日、夜七時半からの月三回です。会場は関係の定員が少数（十五名程度）となり、お申し込み込みは、賤機北地区にお住まいの方・秘在寺、菜流寺にご縁のある方がみられますので、お気楽にお問い合せください。



◆雑記

○お彼岸法話の講師様は大学在学中から十年間放送作家をなさっており、現在でも小林克也氏のFM番組の台本などを書いておられるそうです。修行歴が長いので、お話を聞くと、エレキ琵琶で語る「耳なし芳一」と法話の一人公演を行ったり、さまざまな活動をなさっているそうなので、法話が楽しみです。

○種まきと言えば亡くなった母は「良き種を蒔いておきたい彼岸かな」と言っていました。野菜の種をまく時期です。



○冒頭の句の中の菩提とは、サンスクリット語でボーディ(Bodhi)の音写であり、煩惱(ぼんのう)を断つて悟りえた無上の境地を言います。転じて冥福の意味でも用いられるようになりました。

○寺院の名前は秘在寺のように「寺」の字が付く場合が多いのですが、「院」もあり、安倍では少林院・水月院・回春院があり、前年のは今年が「庵」の自坊のすね。静岡市内では臨濟宗には「三枝庵」があります。

○日本語の漢字にはご存じの通り音読みと訓読みがあります。

そのうち音読みは、中国語を起源とする読み方で、古い順に呉音・唐音・漢音・宋音・元音・明音とあり、時代によつて違う読み方があります。それで、同じ漢字でもいろいろ読み方があって、私たちが苦労するわけです。

○お経や仏教語の読みは、ほとんどこの呉音です。

「会」は「エ」と読むので、成道会・涅槃会・灌仏会などの行事はそれぞれ、ジヨウドウエ・ネハンエ・カンブツエであり、施餓鬼会もセガキエで、お寺の法事は斉会・サイエです。

○寺の境内はケイナイではなくケイダイで月光菩薩はガツコウボサツです。こうして調べてみると、僧侶が使う言葉がなぜ普通に使う読み方と違うのか、納得がなりました。

○利益をリエキと読むのは漢音、呉音ではリヤクと読みます。仏様からいただくのはイヤクです。礼拝は教会では「レイハイ」と読みますが寺では「ライハイ」と読みます。